

時間割番号: 3201020001

# 経済学からの問い

担当教員

室 徳圭[MURO Noriyoshi]

開講学部等	教養教育	対象年次		単位数	2
開講時期	春学期	開講曜時	火2	クラス	(HU)【彦根】
ナンバリング	GEAC03001				
授業形態					

## 授業の目的と概要

社会生活を営む上で必要なお金あるいは金融商品について、その基礎的知識(金利、リスクとリターンの関係など)を習得し、それを使えるようになることを目的とします。このため、基本的には金融ユーザー(特に生活者)の側に目線を置き、初歩の経済学的・金融論的視点を加味しつつ授業を進めます。なお、お金に関連する金融機関や金融市場などについても可能な範囲で触れる予定です。それを学ぶことで、経済の中でも生活に密着した範囲について学ぶ予定です。

【授業形態】対面授業(※毎回出席をとります。)

※ 授業において様々な金融商品のうちいくつかについてその特徴を説明しますが、それは金融商品に関する基礎的知識を持ってもらう学習の一環として紹介するものであって、特定の金融商品を推奨するものではありません。

## 授業の到達目標

大学生あるいは社会人として生活する上で必要なお金あるいは金融商品に関する基礎的知識を習得し、それを基に適切な判断・行動ができるようになること(いわゆる金融リテラシーの基礎の習得)を目標とします。経済学部のディプロマポリシーの「経済についての専門的な知識と思考力を習得している。」に関連付けられます。

## 授業計画

No	内容
第1回	イントロダクション (注)あくまでも予定であり、今後変更する可能性があります。
第2回	人生のデザインとお金
第3回	お金の知恵(お金の特徴)
第4回	お金の知恵(収入を把握する)
第5回	お金の知恵(支出を把握する・お金の使い方)
第6回	お金の知恵(お金を貯める・お金を運用する)
第7回	お金の知恵(お金を運用する)
第8回	お金の知恵(お金を運用する)
第9回	お金の知恵(お金を運用する)
第10回	お金の知恵(お金を運用する・お金を借りる)
第11回	お金の知恵(お金を借りる)
第12回	お金の知恵(損失に備える)
第13回	不確実な人生に船出する
第14回	不確実な人生に船出する(お金に関するトラブルを避ける)
第15回	不確実な人生に船出する(お金に関するトラブルを避ける)、まとめ

## ■ 事前学習・事後学習など授業時間外の学習

基本的には授業計画に記載した内容を、教科書を適宜併用しつつ進めていきますが、教科書に書かれているトピックの順番を適宜入れ替えて取り上げることがあります。なお、必要に応じて補助教材を使用します。講義の最後に次回のテーマについて言及しますので、しっかりと予習・復習をして講義に臨むことを望みます(3時間程度)。

簡単な課題(成績評価の対象)を出題する可能性があります。

## ■ 成績評価の方法

基本的には、期末試験及び課題(3回程度)により評価する予定です。評価割合は、原則として、期末試験70%、課題20%、出席10%の予定です。また、試験や課題の結果等によっては、履修生の不利にならない範囲で調整することはあります。

また、やむを得ない事情により試験を実施しない場合はレポートを課します。その場合、詳細について講義中に説明します。

なお、課題を一切提出せずに試験受験あるいはレポートの提出だけで単位を取得するのは不可能ではないですが、困難と考えてください。

## ■ 成績評価の基準

授業の到達目標を成績評価の方法の各手段で測定する基準は以下のとおりです。

課題:金融リテラシーの基本的知識を確認するため、講義内容・教科書の内容について理解できているかを確認問題等で評価します。

期末試験(又はレポート):金融リテラシーの基本的知識及び専門的な発展的理解を確認するため、講義内容・教科書の内容について、適切に理解できているかによって、「不可」から「秀」まで分かれます。

「可」程度:大学生に最低限必要な金融リテラシーに関する基本的知識を概ね習得している。

「良」程度:大学生に最低限必要な金融リテラシーに関する基本的知識を十分に習得している

「優」程度:大学生に最低限必要な金融リテラシーに関する基本的知識を十分習得し、なおかつ専門的な発展的理解が概ねできている。

「秀」程度:大学生に最低限必要な金融リテラシーに関する基本的知識を十分習得し、なおかつ専門的な発展的理解が十分できている。

(また、レポートの場合は、上記の基準を次の観点に従って評価します。)

「可」程度:講義資料に書かれている内容を理解し、要約・記述することができている。

「良」程度:講義資料を理解した上で、講義で説明した内容を織り込みながら記述することができている。

「優」程度:講義内容を理解し、自ら調べより深い理解をした上で記述ができている。

「秀」程度:講義内容を理解するとともに、自ら調べ、金融リテラシーへの理解を深め、考察を加えながら記述できている。

ただし、あくまでも課題との総合評価です。)

## ■ 教科書

教科書1	ISBN					
	書名	大学生のための人生とお金の知恵				
	著者名	金融広報中央委員会	出版社		出版年	2017
教科書2	ISBN					
	書名	基礎から学べる金融ガイド				
	著者名	金融庁	出版社		出版年	2016

## ■ 参考書

参考書1	ISBN	9784847095894				
	書名	エコノミストの父が、子どもたちにこれだけは教えておきたい大切なお金の話				
	著者名	永濱利廣 著,	出版社	ワニ・プラス	出版年	2017
参考書2	ISBN					
	書名	金融経済教育研究会報告書				
	著者名	金融経済教育研究会	出版社		出版年	2013

## ■ 教材に関する補足情報

(教科書)

『大学生のための人生とお金の知恵』は

<https://www.shiruporuto.jp/public/data/magazine/daigakusei/pdf/daigakusei.pdf>

から、また『基礎から学べる金融ガイド』は

<http://www.fsa.go.jp/teach/kou3.pdf>  
から、それぞれダウンロードできます。

#### （参考書）

参考書1は、本分野について読みやすいということで挙げています。また、参考書2は、講義で取り扱う「金利」に関連するトピックについて分かりやすく書かれています。参考書3は、このテーマに関する教育が必要とされている背景について説明されています。なお、参考書3は

<http://www.fsa.go.jp/frtc/kenkyu/20130430/01.pdf>  
からダウンロードできます。

#### ■ ■ 参考文献一覧

必要に応じて授業中に適宜指示します。

#### ■ ■ 履修上の注意事項

経済学、金融論の予備知識は必要ありません。また、金利計算等を行いますので、累乗の計算、平均や分散（あるいは標準偏差）など簡単な数学の基礎的概念を理解していることをお勧めします。

課題を出題した場合、その課題に関連する不正行為（他の受講生の解答の一部又は全部を写すこと（当該他の受講生の同意の有無は関係なし）、他の受講生に解答の一部又は全部を写させること、他人が作成した解答を提出することなど）を禁止します。

#### ■ ■ キーワード（「実務経験のある教員による授業科目」は「実務経験」で検索）

お金、生活、金融商品、金融リテラシー、実務経験

#### ■ ■ 備考（実務経験の内容と授業との関連を含む）

財務省等で十年以上金融に関する検査・監督業務や様々な行政分野の実務に携わってきた経験を踏まえ、説明・補足等を行う際にはテキストに記載されている事項に加え、当該実務経験から得られた知見をプラスするよう心がけます。

#### ■ ■ 参照ホームページ

金融広報中央委員会 <https://www.shiruporuto.jp/public/>  
金融庁 <http://www.fsa.go.jp/ordinary/index.html#oshiete>

#### ■ ■ 教員からの一言

実務の観点をプラスできるよう心掛けます。

#### ■ ■ オフィスアワー

火曜日12:10～12:50（事前にアポイントを頂くと確実に対応できます。）

#### ■ ■ 連絡先（研究室他）

研究棟610号室

#### ■ ■ 連絡先（電話番号）

0749-27-1169

#### ■ ■ 連絡先（メールアドレス）

[noriyoshi-muro@biwako.shiga-u.ac.jp](mailto:noriyoshi-muro@biwako.shiga-u.ac.jp)

#### ■ ■ ホームページ

#### ■ ■ 備考（教員情報）